

# 事業概要



1. 組織と業務

(平成27年3月31日現在)

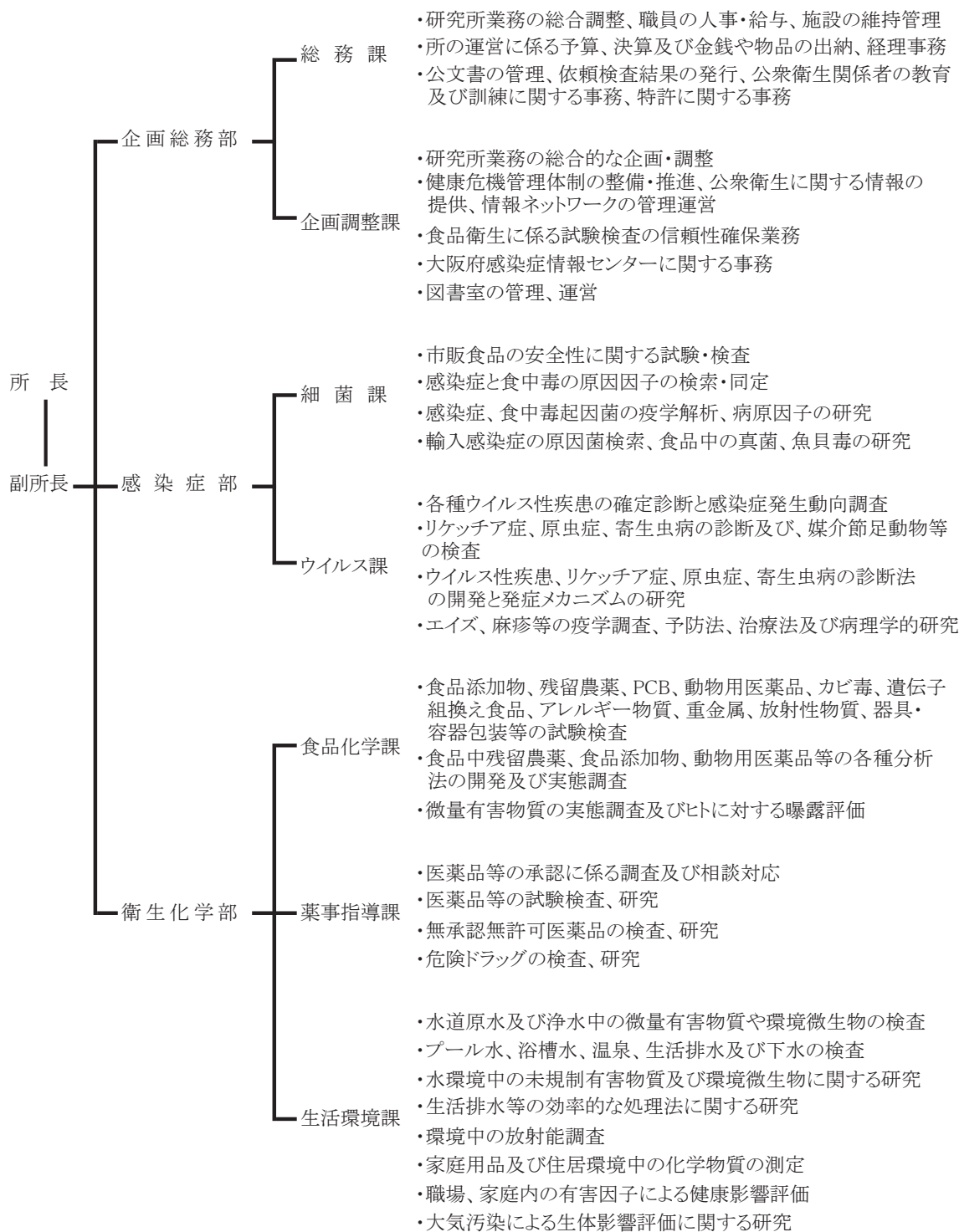


図 1.1 所の組織と業務

表 1.1 部課別・職種別現員表

(平成27年3月31日現在)

職 種 部 課		一 般 事 務	医 師	薬 学	獣 医 師	化 学	農 芸 化 学	生 物	臨 床 検 査 技 師	電 気	機 械	自 動 車 運 転 手	電 話 交 換 手	医 療 機 器 操 作 手	合 計
所 長								1							1
副 所 長			1												1
企画 総務部	総 務 課	9								1	1	2	2		15
	企画調整課	3		1	1				1						6
感染症 部	細 菌 課				13				1					2	16
	ウイルス課			2	9			1	1					4	17
衛生 化学部	食品化学課			17			4								21
	薬事指導課			10											10
	生活環境課			10		1		1	2						14
合 計		12	1	40	23	1	4	3	5	1	1	2	2	6	101

注)

- (1) 感染症部長（兼務）は副所長の項に掲出 企画総務部長、衛生化学部長は、それぞれ総務課、食品化学課の項に掲出
- (2) 一般事務の職名は事務職員、他は技術職員である
- (3) 研究職は、医師、薬学（食品化学課の1名、薬事指導課の2名を除く）、獣医師、化学、農芸化学、生物、臨床検査技師である
- (4) 行政職は、(3)以外の職種である
- (5) 非常勤職員、臨時的任用職員を除く

## 2. 施設の状況及び庁舎の維持管理

図 1.2 建物の配置および付近の見取図

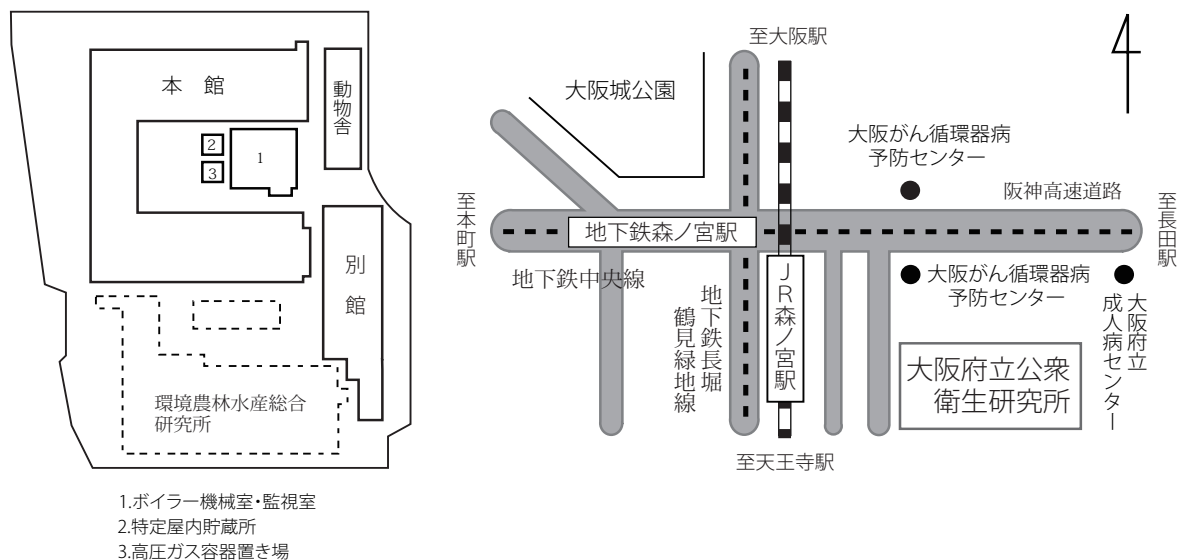


表 1.2 建物の概要

(平成27年3月31日現在)

名 称	構 造	建面積 (㎡)	延面積 (㎡)	備 考
本 館	鉄筋コンクリート造4階建	1,660.29	6,867.52	S34.12竣工 S37.2 増築
別 館	鉄筋コンクリート造6階建	643.25	4,272.18	S49.10竣工
ボ イ ラ ー 機 械 室	鉄筋コンクリート平屋建	233.27	260.97	S49.10竣工
動 物 舎	鉄筋コンクリート2階建	202.50	405.05	S45.3 竣工
ボ イ ラ ー 監 視 室	軽量鉄骨造平屋建	9.69	9.69	S51.2 竣工
特 定 屋 内 貯 蔵 所	鉄筋コンクリート平屋建	8.99	8.99	H4.3 竣工
高 圧 ガ ス 容 器 置 場	鉄筋コンクリート平屋建	8.25	8.25	H20.2 竣工
合 計 ( ㎡ )		2,766.24	11,832.65	敷地 5,790.91

3. 歳入及び歳出

表 1.3 歳入決算

科 目	決算額(円)
総 額	94,212,838
使用料及び手数料	48,589,264
国庫支出金	16,235,406
諸 収 入	29,388,168

表 1.4 歳出決算

科 目	決算額(円)
総 額	994,271,967
公衆衛生総務費	692,011,932
報 酬	1,943,160
給 料	423,526,026
職 員 手 当	265,618,331
共 済 費	731,245
旅 費	174,820
使用料及び賃借料	18,350
衛生研究所費	205,860,708
報 酬	192,000
共 済 費	756,032
賃 金	7,889,989
報 償 費	98,786
旅 費	2,670,070
需 用 費	87,862,691
役 務 費	3,631,438
委 託 料	60,439,874
使用料及び賃借料	28,345,645
工 事 請 負 費	216,000
備 品 購 入 費	12,842,280
負担金、補助及び交付金	915,903
総務管理費（一般管理費）	4,567,570
公衆衛生費（予防費）	15,103,902
環境衛生費（食品衛生費等）	57,396,440
医 薬 費（薬務費）	18,075,375
住宅まちづくり管理費（公共建築費）	1,256,040

## 4. 運営審査会、委員会等

表 1.5 運営審査会、部会、委員会一覧

審査会・委員会	委員長・議長	委員*	備考
公衆衛生研究所運営審査会	山西 弘一	15名	所外学識経験者10、所内委員5
調査研究評価部会	田中 智之	9名	所外学識経験者9
倫理審査部会	井上 徳光	5名	所外学識経験者3、所内委員2
組換えDNA実験安全委員会	上田 重晴	10名	所外学識経験者3、所内委員7
病原体等取扱安全管理審査部会	上田 重晴	9名	所外学識経験者4、地域代表者1、所内委員4
緊急対策特別委員会	山本 容正	16名	所外学識経験者2、地域代表者8、所内委員6
安全衛生委員会	山本 容正	16名	労働安全衛生法（昭和47年法57）及び大阪府職員安全衛生管理規程（昭和55年訓職140）による安全衛生管理に関する委員会
感染症防止対策委員会	高橋 和郎	8名	
病原体等取扱安全管理運営委員会	高橋 和郎	11名	
動物実験委員会	加瀬 哲男	9名	
ECD運営委員会	足立 伸一	5名	放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律（昭和32年法167第21条）による管理運営の組織
バイオサイエンス委員会	高橋 和郎	6名	
公衆衛生情報委員会	木村 明生	8名	
研究情報調査委員会	梶村 計志	9名	
研究発表会運営委員会	足立 伸一	8名	
所報編集委員会	沢辺 善之	8名	
化学安全実験室運営委員会	足立 伸一	4名	
備品委員会	高橋 和郎	10名	
重要物品機能評価委員会	山本 容正	10名	
公衛研ニュース編集委員会	久米田 裕子	8名	

\*委員長・議長を含む人数

## 5. 研究備品の整備状況

表 1.6 新たに取得した主要研究備品

(購入価格100万円以上)	
備 品 名	型 式
卓上型超遠心機	ベックマンコールター製 Optima MAX-TL

## 6. 広報、見学、報道

表 1.7 インターネットによる情報発信

研究所の紹介、研究活動、健康危機管理、トピックス等
Webによる情報発信 <b>【感染症情報センター】</b> 感染症発生動向調査（週報、月報、年報：事業報告書）、感染症ものしり講座、その他感染症関連情報
メールマガジンの配信 128号～139号を配信 定期購読者：約1,000名

表 1.8 公衛研ニュースの発行

号数	発行日	タイトル	所属	著者
53	H26.7.15	亜硝酸ガスと喘息症状の関連性に関する疫学的事例調査	生活環境課	大山正幸
		百日咳、大人もかかる感染症	細菌課	勝川千尋
54	H26.11.14	食品への放射線照射について	食品化学課	北川陽子
		医療・介護福祉施設を含む地域密着型の感染制御ネットワークの構築に向けて	ウイルス課	加瀬哲男
55	H27.2.13	身近にある有毒植物 ～水仙は有毒です～	大阪市立環境科学研究所 食品保健グループ	紀 雅美
		後発医薬品を安心して使用するための取り組み	薬事指導課	川口正美



表 1.9 見学等の受入れ

担当課	区分	テーマ	見学者	人数
薬事指導課	講義	GMP調査に必要な試験・検査の基礎知識	近畿府県等薬事監視員	40
企画調整課	講義	食品衛生検査並びに業務管理基準 (GLP) 研修	府職員	39
細菌課	講義 見学	大阪府の結核の現状、及び結核を含む感染症の当所での取り組みについて	JICA研修生 (公益財団法人結核予防会)	19
食品化学課	見学	アレルギー検査に関する検査・分析機器の見学	企業	1
食品化学課 生活環境課	見学	食品化学課及び生活環境課の研究・調査業務について	台湾国立成功大学	2
ウイルス課	講義 見学	サーベイランスを含むHIV対策のための検査技術・実験室マネジメント	JICA研修生 (国立感染症研究所)	10
細菌課	講義	薬剤耐性菌モニタリングシステムに関する研修	大学准教授 ベトナム衛生管理職員	4
生活環境課	講義 見学	環境及び食品 (牛乳等) からの放射能調査施設の見学	大阪府立環境農林水産総合研究所	25
衛生化学部	講義 見学	違法・脱法ドラッグ・河川の水質評価基準及び実態・化学物質による居住空間の汚染状況	大学生	14
衛生化学部	講義 見学	食品衛生等の検査業務について	専門学校生	41
細菌課	講義	薬剤耐性菌発生機構に関する研修	大学准教授 ベトナム衛生管理職員	1
細菌課	講義 見学	大阪府の結核の現状、及び結核を含む感染症の当所での取り組みについて	JICA研修生 (公益財団法人結核予防会)	11
感染症部	講義	ポリオ及び麻疹を含むワクチン予防可能疾患の世界的制御のための実験室診断技術	JICA研修生 (国立感染症研究所)	10

表 1.10 新聞報道

掲載日	新聞社	取材内容	関係部署
H26. 5. 15	Medical Tribune	腸管出血性大腸菌o157散在的集団発生の探知について	細菌課
H26. 6. 21	サンケイリビング	SFTS (重症熱性血小板減少症候群)について	ウイルス課
H26. 9. 17	大阪日日新聞	ウェルシュ菌の新しい毒素の発見について	細菌課
H26. 10. 6	産経新聞	ウェルシュ菌の新しい毒素の発見について	細菌課
H26. 10. 6	共同通信	ウェルシュ菌の新しい毒素の発見について	細菌課
H26. 10. 18	サンケイリビング	感染症から家族を守る方法について	感染症部
H26. 11. 23	読売新聞	GES-5 (カルバペネム耐性遺伝子) 陽性多剤耐性緑膿菌について	細菌課
H27. 1. 20	毎日新聞	インフルエンザの流行状況と予防について	ウイルス課

表 1.11 電波報道

報道日	放送局	取材内容	関係部署
H26.4.14	読売テレビ	トリインフルエンザについて	ウイルス課
H26.5.1	朝日放送	SFTS (重症熱性血小板減少症候群) 及びマダニについて	ウイルス課
H26.5.19	朝日放送	浜松の児童のノロウイルス集団感染に関連して	細菌課
H26.9.1	朝日放送	インフルエンザの流行状況と予防について	感染症部
H26.9.2	朝日放送	デング熱について	感染症部
H26.9.9	朝日放送	この時期 危険な虫について	ウイルス課
H26.9.15	読売テレビ	SFTS (重症熱性血小板減少症候群) 及びマダニについて	ウイルス課
H26.10.8	NHK	GES-5 (カルバペネム耐性遺伝子) 陽性多剤耐性緑膿菌について	細菌課
H26.10.8	読売テレビ	デング熱について	感染症部
H26.10.20	朝日放送	デング熱の流行への対応方法について	感染症部
H26.11.13	毎日放送	GES-5 (カルバペネム耐性遺伝子) 陽性多剤耐性緑膿菌について	細菌課
H26.11.13	読売テレビ	日本紅斑熱を媒介するマダニについて	ウイルス課
H26.11.26	関西テレビ	インフルエンザの流行状況とその対応および予防について	感染症部
H26.12.4	NHK	インフルエンザの流行状況とその対応および予防について	感染症部
H26.12.24	朝日放送	今冬のインフルエンザの発生状況について	感染症部

## 7. 教育、研修

表 1.12 国内からの研修の受入れ

(手数料収入のあるもの)					
開始日	期間	担当部課	研修内容	研修者	人数
H26. 4. 10	7ヶ月	ウイルス課 食品化学課 生活環境課	感染症に関する公衛研の役割と業務内容 トータルダイエットスタディによる食の安全評価 公衆衛生における環境衛生関連業務の体得	学生	12
H26. 6. 2	10ヶ月	細菌課	病原細菌の取り扱いと分子生物学的手法の習得	学生	1
H26. 8. 18	1ヶ月	食品化学課 生活環境課	食品化学及び生活環境における検査及び研究について	学生	4
H26. 9. 8	1ヶ月	薬事指導課 生活環境課	分析実習技術の習得	学生	4
H26. 10. 29	1ヶ月	細菌課	糞便及び食品からのクドア検出法の習得	公務員	2
H26. 12. 1	4ヶ月	副所長	抗ウイルス効果を示す食品成分の中で病原ウイルスの取り扱いと感染動物の手法について	学生	1

表 1.13 海外からの研修の受入れ

研修期間	担当部課	研修内容	派遣国	人数
該当なし				

表 1.14 研究職員の国際会議・学会等への派遣

所属	研究者	期間	学会名及び国名
細菌課	久米田裕子	H26. 5. 4～7	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
食品化学課	起橋雅浩 山口貴弘	H26. 6. 15～27	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	河原隆二	H26. 6. 8～21	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	久米田裕子	H26. 6. 15～21	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	神吉政史	H26. 6. 15～27	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
食品化学課	起橋雅浩	H26. 7. 19～26	北米残留化学物質ワークショップ(アメリカ)
食品化学課	小西良昌 内田耕太郎	H26. 8. 17～30	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	河合高生 陳内理生	H26. 8. 17～30	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	久米田裕子	H26. 7. 30～8. 2	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
食品化学課	山口貴弘	H26. 11. 23～26	International Conference of Asian Environmental Chemistry2014国際学会(タイ)
食品化学課	起橋雅浩	H26. 11. 24～12. 6	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
食品化学課	山口貴弘	H26. 11. 30～12. 6	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	久米田裕子	H26. 11. 24～12. 2	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	余野木伸哉	H26. 11. 30～12. 6	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	河原隆二	H26. 11. 24～12. 12	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
食品化学課	小西良昌 内田耕太郎	H27. 1. 18～1. 31	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
食品化学課	小西良昌 内田耕太郎	H27. 3. 1～3. 14	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	河合高生	H27. 3. 1～3. 14	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	陳内理生	H27. 3. 16～27	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)

表 1.15 大学等の講師

所属	研究者	大学等教育機関名	期間	講義	回数
生活環境課	田中榮次	近畿大学	H26. 4. 1～9. 12	農学部環境管理学科	15
細菌課	河合高生	大阪教育大学	H26. 4. 9～9. 30	微生物学	15

## 8. 試験実施件数

表 1.16 (1) 衛生検査実施件数

		依頼によるもの				依頼によらないもの	計	
		住民	保健所	保健所以外の行政機関	その他(医療機関、学校、事業所等)			
結核	分離・同定・検出			67	8		75	
	核酸検査			288	56	2	15	361
	化学療法剤に対する耐性検査			57	7			64
性病	梅毒							
	その他					2	10	12
ウイルス・リケッチア等検査	分離・同定・検出	ウイルス		489	1,129	98	1,310	3,026
		リケッチア					164	164
		クラミジア・マイコプラズマ						
	抗体検査	ウイルス				269	265	534
		リケッチア			180			180
		クラミジア・マイコプラズマ						
病原微生物の動物試験								
原虫・寄生虫等	原虫							
	寄生虫							
	そ族・節足動物				5,831		1,018	6,849
	真菌・その他			42				42
食中毒	病原微生物検査	細菌		690	19		709	
		ウイルス		1,029	6		1,035	
		核酸検査		403			403	
	理化学的検査							
	動物を用いる検査							
	その他							
臨床検査	血液検査(血液一般検査)							
	血清等検査	エイズ(HIV)検査		15	51	141	3,078	3,285
		HBs抗原、抗体検査					184	184
		その他					65	65
	生化学検査	先天性代謝異常検査						
		その他						
	尿検査	尿一般						
		神経芽細胞腫						
		その他						
	アレルギー検査(抗原検査・抗体検査)							
その他								
食品等検査	微生物学的検査			2,348	311		2,659	
	理化学的検査(残留農薬・食品添加物等)			1,206	452		452	2,110
	動物を用いる検査				5		5	
	その他				5		5	
(上記以外)細菌検査	分離・同定・検出			174	160	403	241	978
	核酸検査			209	223	539	752	1,723
	抗体検査			6				6
	化学療法剤に対する耐性検査			210	117	313	344	984
医薬品・家庭用品等検査	医薬品				35		35	
	医薬部外品				5		5	

表 1.16 (2) 衛生検査実施件数

		依頼によるもの				依頼によらないもの	計	
		住民	保健所	保健所以外の行政機関	その他(医療機関、学校、事業所等)			
医薬品・家庭用品等検査	化粧品			35			35	
	医療機器			2			2	
	毒劇物							
	家庭用品			207			207	
	その他			63			63	
栄養関係検査								
水道等水質検査	水道原水	細菌学的検査						
		理化学的検査			46	590	636	
		生物学的検査			20	19	39	
	飲用水	細菌学的検査				5	24	29
		理化学的検査			89		1,428	1,517
	利用水等(プール水等を含む)	細菌学的検査						
理化学的検査				202		129	331	
廃棄物関係検査	一般廃棄物	細菌学的検査						
		理化学的検査						
		生物学的検査						
	産業廃棄物	細菌学的検査						
		理化学的検査						
		生物学的検査						
環境・公害関係検査	大気検査	SO <sub>2</sub> ・NO <sub>2</sub> ・OX等				18	18	
		浮遊粒子状物質						
		降下煤塵						
		有害化学物質・重金属等						
		酸性雨						
		その他					36	36
	水質検査	公共用水域			31		23	54
		工場・事業場排水			3			3
		浄化槽放流水			49		115	164
		その他					104	104
	騒音・振動							
	悪臭検査							
	土壌・底質検査							
	環境生物検査	藻類・プランクトン・魚介類						
		その他			31	9	60	100
一般室内環境								
その他						86	86	
放射能	環境試料(雨水・空気・土壌等)			2,335			2,335	
	食品			2			2	
	その他			31			31	
温泉(鉱泉)泉質検査								
その他								
総計			7,233	11,746	1,800	10,511	31,290	

## 9. 調査、研究実施状況

表 1.17 (1) 通常研究、開発研究

感染症部				
課	研究課題	研究代表者	共同研究者	備考
細菌課	腸管感染症および類似疾患における細菌学的研究	勢戸和子	田口真澄 原田哲也	所外共同研究
細菌課	細菌性呼吸器感染症に関する調査研究	河原隆二	田丸亜貴 陳内理生 原田哲也 勝川千尋	
細菌課	結核菌および非結核性抗酸菌に関する研究	田丸亜貴	河原隆二 勝川千尋	
細菌課	細菌性食中毒に関する研究	川津健太郎	神吉政史 坂田淳子 原田哲也 依田知子	
細菌課 *食品化学課	食品内で産生される細菌毒素に関する研究	河合高生	神吉政史 余野木伸哉 山口瑞香*	原田哲也 陳内理生
細菌課 *ウイルス課	真菌、魚介毒及びノロウイルスに関する研究	依田知子	川津健太郎 坂田淳子 陳内理生 山崎謙治 左近直美 中田恵子* 久米田裕子	
ウイルス課	腸管感染性ウイルスに関する研究	左近直美 中田恵子		所外共同研究
ウイルス課	ウイルス性呼吸器感染症の研究	森川佐依子 廣井 聡		
ウイルス課	麻疹・風疹等の発疹を主徴とするウイルス感染症に関する研究	倉田貴子	上林大起 加瀬哲男	所外共同研究
ウイルス課	衛生動物を介する感染症に関する研究	弓指孝博	青山幾子	
ウイルス課 *企画調整課	HIVおよびその他の性感染症に関する研究	森 治代	川畑拓也 西村公志*	小島洋子 所外共同研究
ウイルス課 *生活環境課 **企画調整課	原虫・寄生虫症に関する研究	倉田貴子 枝川亜希子* 木村明生**		終了

表 1.17 (2) 通常研究、開発研究

衛生化学部				
課	研究課題	研究代表者	共同研究者	備考
食品化学課	食品添加物等に関する衛生学的研究	阿久津和彦	柿本幸子 野村千枝 山口瑞香	栗津 薫 柿本 葉 清田恭平
食品化学課	健康危害物質に関する衛生学的研究	柿本幸子	阿久津和彦 栗津薫 柿本葉 清田恭平	吉光真人 野村千枝 山口瑞香
食品化学課	食品中の残留農薬等に関する研究	高取 聡	北川陽子 福井直樹 小阪田正和	起橋雅浩 吉光真人 山口聡子
食品化学課	食品中に残留する微量有害物質に関する研究	起橋雅浩	小西良昌 永吉晴奈 山口貴弘	柿本健作 内田耕太郎 山口瑞香
食品化学課	食品中のアレルギー物質等に関する研究	吉光真人	清田恭平 栗津 薫 山口瑞香	野村千枝 柿本 葉 柿本幸子
食品化学課	残留性化学物質によるヒト曝露とその影響に関する研究	小西良昌	柿本健作 山口貴弘	永吉晴奈 柿本 葉 所外共同研究
薬事指導課	医薬品等の品質確保及び健康被害防止に関する研究	川口正美 岡村俊男 田上貴臣 梶月由香 土井崇広 中村暁彦 浅田安紀子 武田章弘 青山愛倫		
薬事指導課	危険ドラッグに関する研究	土井崇広 川口正美 田上貴臣 梶月由香 浅田安紀子 武田章弘		
薬事指導課	化粧品に配合されるホルムアルデヒドナール型防腐剤に関する研究	土井崇広 田上貴臣 浅田安紀子 武田章弘 青山愛倫		終了
薬事指導課	生薬・漢方製剤に関する研究	田上貴臣 青山愛倫 浅田安紀子 武田章弘 土井崇広 川口正美		終了
薬事指導課	違法ドラッグ製品に配合されるカチノン系化合物の同定法開発に関する研究	土井崇広		開発研究 終了



表 1.17 (3) 通常研究、開発研究

課	研究課題	研究代表者	共同研究者	備考	
生活環境課	小規模分散型生活排水処理システムに関する研究	奥村早代子 中野 仁			
生活環境課	家庭用品に関する衛生学的研究	味村真弓		所外共同研究	
生活環境課 *企画調整課 **ウイルス課	環境微生物に関する調査研究	肥塚利江 枝川亜希子 東恵美子	木村明生* 倉田貴子**		
生活環境課 *企画調整課	住居と職場における有害化学物質への曝露状況と健康影響に関する研究	吉田 仁 吉田俊明*			
生活環境課	水道水の安全性に関する研究	小泉義彦	中島孝江 吉田 仁 田中榮次	高木総吉 安達史恵	
生活環境課	大気汚染および住環境による健康影響に関する研究	大山正幸	東恵美子	中島孝江	所外共同研究
生活環境課	環境放射能および環境放射線の測定	肥塚利江 東恵美子 足立伸一			

表 1.18 受託研究、共同研究

研 究 課 題	所 属	研 究 者
薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発	細菌課	久米田裕子
ワクチンで予防可能な細菌性感染症における臨床分離菌株の収集および解析	細菌課	久米田裕子、勝川千尋、河原隆二、田口眞澄、川津健太郎、神吉政史、原田哲也、陳内理生
病原性大腸菌のゲノム多様性と病原機構に関する研究	細菌課	勢戸和子
病原性大腸菌の新規分類手法の開発に資する研究	細菌課	勢戸和子
簡易測定手法を利用した長崎県における麻痺性貝毒モニタリング調査	細菌課	川津健太郎
簡易測定手法を利用した佐賀県における麻痺性貝毒モニタリング調査	細菌課	川津健太郎
簡易測定手法を利用した熊本県における麻痺性貝毒モニタリング調査	細菌課	川津健太郎
ヒトのカンピロバクター感染症の診断と薬剤選択を同時に可能とするDNAマイクロアレーの開発	細菌課	久米田裕子
ウェルシュ菌新型エンテロトキシン（BEC）に関する研究	細菌課	余野木伸哉
感染症の臨床診断試薬の開発研究	ウイルス課	加瀬哲男、森川佐依子、廣井聡、左近直美
呼吸器感染症診断薬用モノクローナル抗体の反応性研究	ウイルス課	加瀬哲男、森川佐依子、廣井聡
市中におけるインフルエンザウイルス菌株の分離・培養及び提供と市中分離株の薬剤感受性試験	ウイルス課	加瀬哲男、森川佐依子、廣井聡
ノロウイルス検出における新規抗体の評価、および新規開発抗体を使用したノロウイルス検出キットの評価	ウイルス課	加瀬哲男、左近直美
インフルエンザ検査薬の反応性に関する研究	ウイルス課	加瀬哲男
ソフトコンタクトレンズ消毒剤の有効性に関する研究	ウイルス課	加瀬哲男
ノロウイルス検出キット性能評価	ウイルス課	左近直美、加瀬哲男
感染症起因菌・ウイルス迅速検査に関する研究	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
非エンベロープウイルスおよび芽胞菌を効果的に不活化するアルコール製剤および高水準消毒薬等の開発	ウイルス課 企画調整課	山崎謙治、中田恵子 西村公志
大阪府全域におけるノロウイルス流行調査	ウイルス課	左近直美、加瀬哲男
浄化槽面整備後の地域水環境への影響評価	生活環境課	奥村早代子、中野仁

表 1.19 文部科学省科学研究費補助金による研究

研究種目	研究課題	所属	研究者
基盤研究B	動物曝露実験による亜硝酸ガスの生体影響評価に関する研究	生活環境課	大山正幸
基盤研究B*	エジプトとタイにおける家畜・家きん由来インフルエンザウイルス性状変化追跡調査研究	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
基盤研究B*	文化財展示収蔵施設の実情に即したカビ調査技術と制御に関する研究	細菌課	久米田裕子
基盤研究B*	東アジアで発生する多環芳香族炭化水素誘導体の分布、越境輸送および生体影響	生活環境課	大山正幸
基盤研究C	クドア属粘液胞子虫による新規寄生虫性食中毒の防止に向けた現場即応型検出法の開発	細菌課	河合高生
基盤研究C	大阪府に蔓延する多剤耐性結核菌を用いた結核菌感染性マーカーの開発	細菌課	田丸亜貴
基盤研究C	漢方薬・生薬中のアリストロキア酸（腎障害惹起物質・発がん物質）の検出法の確立	薬事指導課	田上貴臣
基盤研究C	小児の呼吸器系ウイルスの侵淫度を探る	ウイルス課	森川佐依子
基盤研究C	H I V感染者におけるH B V・梅毒トレポネーマの感染歴とH B V遺伝子型の解析	ウイルス課	小島洋子
基盤研究C	アメーバ共培養法で検出したレジオネラの遺伝子型と棲息環境との関連性解析	生活環境課	枝川亜希子
基盤研究C	網羅的迅速病原体遺伝子検出法の開発と公衆衛生への応用の評価	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
基盤研究C	生原アミン類の生成を指標とした食品の新しい鮮度評価法に関する研究	食品化学課	梶村計志
基盤研究C	ノロウイルスの変異率と流行に関する研究	ウイルス課	左近直美
基盤研究C	放射線損傷塩基である5,6-ジヒドロチミジンを経指標とした新規照射食品検知法の開発	食品化学課	高取聡
基盤研究C	マクロライド耐性マイコプラズマ感染症の流行、薬剤耐性の把握と臨床的特徴の解明	細菌課	勝川千尋
基盤研究C	肺炎球菌ワクチン導入による菌株遷移と新たな高病原性菌発生リスクの解析	細菌課	河原隆二
基盤研究C	養鶏現場で簡便かつ迅速に実施できるカンピロバクター保菌鶏の超高感度検出法の確立	細菌課	川津健太郎
基盤研究C	殺虫剤・可塑剤・難燃剤による子どもの体内汚染と学校・住宅の室内空気質の及ぼす影響	企画調整課	吉田俊明
基盤研究C*	ポリフェノールの免疫活性化を介した抗結核作用の解析と予防・治療への有効性の検討	細菌課	田丸亜貴
若手研究B	病院排水中の薬剤耐性菌と抗菌剤が水環境に及ぼす影響について	生活環境課	安達史恵
若手研究B	国内で流通する非加熱摂取食品に潜在する細菌学的健康リスクの解明	細菌課	原田哲也
若手研究B	違法ドラッグ及びその代謝物の一斉構造決定を可能にする新システムの開発	薬事指導課	浅田安紀子
若手研究B	NA活性はインフルエンザウイルスの流行形成と増殖性に影響を及ぼすか	ウイルス課	廣井聡
若手研究B	医薬品を違法配合したダイエット食品の新規迅速分析法の開発と流通状況の解明	薬事指導課	中村暁彦
若手研究B	デクロラン類による大気汚染実態と越境汚染の解明	食品化学課	柿本健作
若手研究B	風疹市中流行株の液性免疫に対する有効性とエンデミック形成への関与	ウイルス課	上林大起
若手研究B	周産期における麻疹ウイルス胎盤感染がもたらす胎児への影響に関する研究	ウイルス課	倉田貴子

注 \*は分担研究者

表 1.20 厚生労働科学研究費補助金、環境省科学研究費補助金、その他の研究助成金による研究

研究課題	所 属	研究者	補助金等事業者名
CBRNE事態における公衆衛生対応に関する研究	副所長兼 感染症部長	高橋和郎	厚生労働科学研究費補助金 健康安全・危機管理対策総合 研究事業
国内侵入・流行が危惧される昆虫媒介性ウイルス感染症に対する総合的対策に関する研究	副所長兼 感染症部長	高橋和郎	厚生労働科学研究委託費 新興・再興感染症に対する革新的 医薬品等開発推進研究事業
食品中の食中毒菌等の遺伝特性及び制御に関する研究	細菌課	久米田裕子	厚生労働科学研究費補助金 食品の安全確保推進研究事業
重症の腸管出血性大腸菌感染症の病原性因子及び診療の標準化に関する研究	細菌課	勢戸和子	厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・ 再興感染症研究事業
病原体解析手法の高度化による効率的な食品由来感染症探知システムの構築に関する研究	細菌課	勢戸和子	厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・ 再興感染症研究事業
食品由来細菌の薬剤耐性サーベイランスの強化と国際対応に関する研究	細菌課	田口真澄	厚生労働科学研究費補助金 食品の安全確保推進研究事業
非動物性の加工食品等における病原微生物の汚染実態に関する研究	細菌課	田口真澄	厚生労働科学研究費補助金 食品の安全確保推進研究事業
医療・介護福祉施設を含む地域密着型の感染制御ネットワークの構築に関する研究	ウイルス課	加瀬哲男	厚生労働科学研究費補助金 健康安全・危機管理対策総合 研究事業
麻疹ならびに風疹排除およびその維持を科学的にサポートするための実験室検査に関する研究	ウイルス課	加瀬哲男	厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・ 再興感染症研究事業
ワクチンの有効性・安全性評価とVPD対策への適用に関する分析疫学研究	ウイルス課	加瀬哲男	厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・ 再興感染症研究事業
急速な病期進行あるいはセロネガティブ感染を伴う新型HIVの国内感染拡大を検知可能なサーベイランスシステム開発研究	ウイルス課	川畑拓也	厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業
HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究	ウイルス課	川畑拓也	厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業
個別施策層のインターネットによるモニタリング調査と教育・検査・臨床現場における予防・支援に関する研究	ウイルス課	川畑拓也	厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業
検査機関の信頼性確保に関する研究	衛生化学部長	尾花裕孝	厚生労働科学研究費補助金 食品の安全確保推進研究事業
TDH/TRH産生性腸炎ビブリオの簡便かつ迅速な検査法の開発	細菌課	坂田淳子	公益財団法人 大同生命厚生事業団
風疹抗体保有率が風疹エンデミック形成に与えた影響解析	ウイルス課	上林大起	公益財団法人 大同生命厚生事業団
新たな寄生虫性食中毒の原因究明に向けたKudoa属粘液胞子の病原性解析	細菌課	河合高生	公益財団法人 大同生命厚生事業団
食の安全・安心に係る理化学試験のオンラインビデオ教材の開発	食品化学課	阿久津和彦	公益財団法人 大同生命厚生事業団
病因物質不明食中毒事例より分離されたウェルシュ菌が産生する新型エンテロトキシンに関する研究	副所長兼 感染症部長	高橋和郎	株式会社ヤクルト

## 10. 組換え DNA 実験、安全実験室の運用

表 1.21 組換え DNA 実験実施状況

実験・研究	レベル	所属	研究者
小児呼吸器感染症における起因病原微生物の包括的同定に関する研究	B1/P2	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
急性髄膜炎および脳炎の病原微生物に対する迅速診断法の開発	B1/P2	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
食中毒および感染性胃腸炎の病原微生物に対する迅速診断法の開発と性能評価	B1/P2	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
RSウイルスFタンパクの大腸菌・バキュロウイルスでの発現と産生	B1/P2	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
大腸菌由来抗生剤耐性遺伝子の解析(基質特異性拡張型βラクタマーゼ遺伝子CTX-Mの遺伝子解析)	B1/P2	細菌課	久米田裕子
ノロウイルスキャプシドの大腸菌・カウロバクター・バキュロウイルスでの発現とノロウイルスcDNA全長の哺乳動物細胞での発現	B1/P2	細菌課	依田知子
イチジク株枯病菌( <i>Ceratocystis fimbriata</i> )の18SrRNA遺伝子の解析 (ITS領域も含めた)	B1/P1	細菌課	依田知子
ボツリヌス毒素の高感度検出法の開発	B1/P2	細菌課	河合高生
バンコマイシン耐性腸球菌のReal time PCR検出法の開発	B1/P2	細菌課	原田哲也
腸管出血性大腸菌のReal time PCR検出法の開発	B1/P2	細菌課	原田哲也
<i>Aspergillus flavus</i> におけるアフラトキシン産生の転写レベルでの発現制御機構の解析	B1/P2	細菌課	坂田淳子
「食中毒菌に対する特異的抗体の作製( <i>Vibrio</i> 属菌や <i>Campylobacter</i> 属菌、 <i>Salmonella</i> 属菌、 <i>Plesiomonas shigelloides</i> に対する抗体の作出やその抗体が認識する抗原の解析)	B1/P2	細菌課	坂田淳子
腸炎ビブリオの易熱性溶血毒の大腸菌での発現	B1/P2	細菌課	坂田淳子
ウェルシュ菌が産生する毒素の研究	B1/P2	細菌課	余野木伸哉
クドア属粘液胞子虫の簡易迅速検出法の開発	B1/P2	細菌課	陳内理生
<i>Sarcocystis</i> 属原虫の分類を目的とした新たな遺伝子マーカーの開発	B1/P2	細菌課	陳内理生
ウイルス性呼吸器感染症の研究(陽性コントロールプラスミドの作成およびPCR産物の塩基配列の決定)	B1/P2	ウイルス課	加瀬哲男
宿主-病原体相互作用の分子基盤に基づくウイルス感染症治療・予防・検査法の開発	B1/P2	ウイルス課	倉田貴子
ウイルス性胃腸炎原因ウイルス、肝炎ウイルスおよびムンプスウイルスの遺伝子クローニング	B1/P2	ウイルス課	左近直美
ヒト免疫不全ウイルス(HIV)およびその他の性感染症に関する研究	B1/P2	ウイルス課	小島洋子
病原性原虫および自由生活性アメーバに関する研究	B1/P2	ウイルス課	倉田貴子
残留性化学物質による人体汚染に関する研究	B1/P2	食品化学課	永吉晴奈
食物アレルギー検出法の確立	B1/P2	食品化学課	清田恭平
食の安全と関連した有機養液栽培、無機水耕栽培および土壌中の微生物群の解析	B1/P1	食品化学課	依田知子
新種と推定される腸球菌の菌種同定	B1/P2	細菌課	原田哲也
不明熱患者から蚊の培養細胞で分離した未知のウイルスの遺伝子クローニング	B1/P2	ウイルス課	弓指孝博
機器分析を用いたβ-ラクタマーゼの同定法の開発および薬剤耐性に関する研究	B1/P2	食品化学課	山口貴弘
市販クリプトスポリジウム等の遺伝子検出キットの有用性の検討	B1/P2	生活環境課	肥塚利江

表 1.22 安全実験室の使用状況

実験・研究	使用した病原体	レベル	所 属	研究者
トリインフルエンザウイルスに対する迅速診断法の開発	高病原性トリインフルエンザウイルス	レベル3	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
ウエストナイルウイルスに対する中和抗体価の測定	ウエストナイルウイルス	レベル3	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
BSL3の病原細菌を原因とする問題発生時における菌の検索、同定、解析	炭疽菌 チフス菌 パラチフスA菌	レベル3	細菌課	久米田裕子、勢戸和子 勝川千尋、田口真澄 田丸亜貴、河原隆二 原田哲也
結核菌および非結核性抗酸菌に関する研究	結核菌 牛型結核菌	レベル3	細菌課	田丸亜貴
HIVおよびその他の性感染症に関する研究	ヒト免疫不全ウイルス1型(HIV-1) ヒト免疫不全ウイルス2型(HIV-2)	レベル3	ウイルス課	森治代 川畑拓也 小島洋子
衛生動物を介する感染症に関する研究	ハンタウイルス(ハンタンウイルス、ソウルウイルス) 恙虫病リケッチア 紅斑熱群リケッチア、Q熱コクシエラ ウエストナイルウイルス、チクングニヤウイルス 西部ウマ脳炎ウイルス	レベル3	ウイルス課	弓指孝博 青山幾子
ウイルス性呼吸器感染症の研究	高病原性トリインフルエンザウイルス SARS関連コロナウイル	レベル3	ウイルス課	加瀬哲男 森川佐依子 廣井聡



## 11. 所内研究発表会、公開セミナー、一日体験講座

表 1.23 所内研究発表会

開催年月日	セミナー・講演	司会・座長	テーマ	講演者
H26.6.24	第198回 公衛研セミナー	沢辺善之	注射剤容器の表面汚染について	武田章弘(薬事指導課 技師)
		足立伸一	環境水からのレジオネラ属菌検出状況と検査方法の現状と課題	枝川亜希子(生活環境課 主任研究員)
		高橋和郎	医療・介護福祉施設を含む地域密着型の感染制御ネットワークの構築	加瀬哲男(ウイルス課長)
H26.12.3	創立記念 特別講演会	挨拶:山本 容正(所長)		
		高橋和郎	細菌毒素の研究から創薬を目指す	目加田英輔(大阪大学微生物病研究所長)
H27.3.23	第199回 公衛研セミナー	足立伸一	水道における農薬類の現状と課題	高木 絵吉(生活環境課 主任研究員)
		足立伸一	大阪における都市のヒートアイランド現象の実態と対策 -熱中症の発生を予防するために-	榊元 慶子(大阪市立環境科学研究所 環境調査担当課長)
		加瀬哲男	「照一隅」	高橋和郎(副所長 兼 感染症部長)

表 1.24 公開セミナーの開催

日時	平成27年1月21日(水) 14時～16時		
場所	大阪府病院年金会館		
目的	保健衛生、健康意識の向上に役立つ知識をやさしく解説する 「第16回くらしのサイエンス講演会」として大阪市立環境科学研究所と共催		
対象	大阪府民、大阪市民		
【プログラム】			
開会のあいさつ	大阪府立公衆衛生研究所 所長 山本容正		
講演			
1) 自然毒から身を守るために	大阪市立環境科学研究所 調査研究課研究主任 仲谷 正		
2) 大阪の水道水はどんな水?	大阪府立公衆衛生研究所 生活環境課長 足立伸一		
閉会のあいさつ	大阪市立環境科学研究所 所長 岡本篤佳		
参加者	76 名		

表 1.25 一日体験講座の開催

日時	平成26年11月8日(土) 13時～16時		
場所	大阪市立環境科学研究所		
目的	健康や環境について関心を深めていただく 「第18回一日体験講座」として大阪市立環境科学研究所と共催		
対象	大阪府民、大阪市民		
<b>【プログラム】</b>			
開会のあいさつ		大阪市立環境科学研究所 所長 岡本篤佳	
講義と実習			
Aコース	「放射温度計で測る・わかる・くらしを変える！」	大阪市立環境科学研究所 調査研究課環境調査担当課長 梶元慶子	
Bコース	「食品中の天然色素と合成色素の違いを確認してみよう」	大阪府立公衆衛生研究所 食品化学課主任研究員 阿久津和彦	
参加者	30 名		

## 12. 図書及び資料の刊行

表 1.26 図書及び資料の刊行

蔵書数 (製本済み)	洋書	2,790	和書	4,803
	洋雑誌	6,267	和雑誌	1,992
資料の刊行	平成25年度大阪府立公衆衛生研究所年報 (ISSN 0289-9809)		平成26年11月	
	大阪府立公衆衛生研究所研究報告 No52 (PDF) (ISSN 2185-4076)			

## 13. 文献相互貸借状況

図書室所蔵資料は限られており、所蔵のないもので調査・研究に必要な資料については、平成 26 年度では、NACSIS - ILL オンラインシステム等により 74 の大学

図書館等外部機関より総計 673 件の文献を入手した。  
また同システム等により 40 の大学図書館等外部機関に総計 71 件の文献を提供した。